

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和5年度 商業実務専門課程 (情報ビジネス学科)																
科目区分①	科目区分②		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名		授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法		
						必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
専門		業務効率化リテラシー	1	後期	専門			○	業務効率化リテラシーⅠA	データベースの仕組みを理解し、アクセス等の操作方法を身につける RPA等 業務効率化を推進ツールの仕組みを理解し基礎的的操作スキルを身につけ、活用事例を学ぶ	30	1		○		
	デジタルマーケティング・リテラシー	2	前期	専門			○	デジタルマーケティングⅡA	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける	30	1		○			
		2	後期	専門			○	デジタルマーケティングⅡB	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける	30	1		○			
	データマーケターとして必要なマーケティング知識と地域経済への理解を深める	1	前期	専門	○			マーケティングⅠA (マーケティング基礎)	マーケティングの基本的考え方や活用事例を学ぶ	30	2	○				
		1	後期	専門	○			マーケティングⅠB (WEB広告マーケティング)	WEB広告のマーケティングの運用を学び、アナリティクスツールの基本操作を習得する	30	2	○				
		2	前期	専門		○		顧客理解ⅡA	顧客理解の意義と活用事例を学ぶ	30	2	○				
		2	前期	専門	○			地域社会と経済ⅡA	地域社会リーダー・経営者から地域社会と経済を学ぶ	30	2	○				
	ビジネスに必要な英語力を身につける	1	前期	専門		○		TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○			
		1	後期	専門		○		TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○			
		2	前期	専門		○		TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○			
		1	前期	専門		○		TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○			
		1	後期	専門		○		TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○			
		2	前期	専門		○		TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○			
		1	前期	専門		○		EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○			
		1	後期	専門		○		EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○			
		2	後期	専門		○		オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマでデータマーケティングを実施し、企画案をプレゼンする (英語使用)	60	2		○			
	マーケターに必要なコミュニケーションスキルを身につける	2	前期	専門		○		リサーチ・コミュニケーションⅡA (ファシリテーション)	多様な立場からの意見を整理し、チームの合意形成を図るためのファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける	30	1		○			
		1	後期	専門		○		プレゼンテーションⅠA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身につける	30	1		○			
	データビジネス職に求められる知識と技能を身につける	1	前期	専門		○		DXリテラシーⅠA	DXが必要とされる国内外の社会変化とデジタル技術やデータ活用によってめざす社会のあり方を理解する	30	2	○				
		1	前期	専門		○		デジタルビジュアライゼーションⅠA (グラフ・コンセプト)	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるためにグラフィック・レコーディング (概念化) を習得する	30	1		○			
		1	前期	専門		○		リサーチメソッドⅠA	定性調査基礎: アンケート調査を中心とした定性調査の設計、インタビュー分析、クロス集計分析を身につける (エクセル、SPSSを使用)	60	4	○				
		1	後期	専門		○		リサーチメソッドⅠB	定性調査基礎: 基本的統計を理解し、エクセルを使用した数量データの調査・分析 (相関分析) ・グラフ作成力を身につける	30	2	○				
		2	前期	専門		○		リサーチメソッドⅡA	定性調査実践: SNSやインターネット上の質的データを収集し、テキストマイニング分析とBIによる可視化手法を身につける	60	4	○				
		1	前期	専門		○		ビジネス数学ⅠA	数字を通して、商取引への理解を高め、ビジネス動向を把握する力を身につける	30	1		○			
		1	後期	専門		○		ビジネス統計ⅠA	統計的視点をもってビジネスの動向を捉え、課題を発見するための基礎力を身につける	30	1		○			
		2	後期	専門		○		情報リテラシーⅡA	情報取り扱いに関わる法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める	30	2	○				
	現場力・実践力を身につける	2	前期	専門		○		卒業研究ⅡA	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を発表する (Dream成果発表会等)	30	2	○				
		1	後期	専門		○		課題解決学習ⅠA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	90	2		○			
		2	後期	専門		○		課題解決学習ⅡA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	90	2		○			
		1	前期	専門		○		インターンシップⅠA	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習	30	1		○			
		1	後期	専門		○		インターンシップⅠB	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	180	4			○		
		2	前期	専門		○		インターンシップⅡA	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習	30	1		○			
		2	後期	専門		○		インターンシップⅡB	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	180	4			○		
		1	前期	専門		○		ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○			
1		前期	一般		○		表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身につける	30	1		○				
1		前期	一般		○		就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
一般	1	後期	一般		○		就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
	2	前期	一般		○		就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
	2	後期	一般		○		就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○				
	1	前期	一般		○		データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	60	2		○				
	40 科目								1800 単位時間	1800	66	単位)				

卒業要件及び履修方法		
卒業要件: 1710単位時間 GPA2.0以上 必修科目を取得していること 選択必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2 期
	1学年の授業期間	15 週

科 目 名	デジタルマーケティングⅡA							学期	前	期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける									
授業内容										
学習目標										
使用テキスト	授業時に配布									
週数	授業計画									
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
	評価項目/割合			評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題 60 %			提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、積極的なコミュニケーション						
	3. テストその他 10 %			テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科目名	デジタルマーケティングⅡB							学期	後	期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける									
授業内容										
学習目標										
使用テキスト	授業時に配布									
週数	授業計画									
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
評価基準	評価項目/割合			評価内容						
	1. 課題 60 %			提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、積極的なコミュニケーション						
	3. テストその他 10 %			テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート						
目標検定・課外授業実施予定・その他			外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります							

科 目 名		マーケティングⅠA(マーケティング基礎)							学 期		前 期		
担当教員		法 育 実		科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数		2	
学習目的		マーケティングの基礎知識に関する理解を深め、様々な企業の取り組みを分析する中で、マーケティングの軸である「売れる仕組みづくり」を学ぶ。思考力、プレゼンテーション能力、グループ討議力や社会性、創造性、国際性を身につける。											
授業内容		マーケティングの基礎を理解した上で、様々な企業の取り組みを分析し、文章にまとめる。											
学習目標		自分の考えを整理し、わかりやすく伝えることが出来る。言葉や文章で簡潔に要点を伝えることができる。資料を調べたり人の意見を聞いたりし、問題発見、解決ができる。											
使用テキスト		なるほど！ これでよくわかった 3 訂版 図解 よくわかるこれからのマーケティング											
週数		授業計画							事前・事後の学習				
1	マーケティングとはなにかを理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
2	企業戦略とマーケティングの関係性を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
3	4Pと4Cからマーケティングのあり方を考える								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
4	環境分析手法を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
5	ニーズの把握の必要性和手法を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
6	セグメンテーションの必要性和手法を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
7	ターゲティングの必要性和手法を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
8	ポジショニングの必要性和手法を理解する								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
9	製品戦略のあり方を考える								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
10	価格戦略のあり方を考える								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
11	流通戦略のあり方を考える								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
12	コミュニケーション戦略のあり方を考える								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
13	企業事例分析①								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
14	企業事例分析②								【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく			
									【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認			
15	企業事例分析③								【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく			
									【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する			
		評価項目/割合				評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題		40 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献								
	2. 授業姿勢		30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無								
	3. テストその他		30 %		テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他		外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											

科 目 名	マーケティングⅠ B（WEB広告マーケティング）							学期	後 期
担当教員	清瀬 稜太	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	WEBマーケティングの概要から代表的な手法までを学び、クライアントの課題解決に向けた提案力を身につける。								
授業内容	様々なwebマーケティング手法を、実例やツールを用いて学習する。								
学習目標	クライアントの課題に対する解決方法を考え、伝えるように提案できる。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	WEBマーケティングとは？	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
2	WEBサイトの仕組み	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
3	様々なWEBマーケティング手法を知ろう	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
4	WEBマーケティングの目標とターゲット設定について	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
5	成果に繋がるWEBサイト設計について	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
6	WEBサイトへの集客について① WEB広告	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
7	WEBサイトへの集客について② SEO	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
8	WEBサイトへの集客について③ SNS	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
9	WEBサイトの効果を測定しよう(Google Analytics)	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
10	測定した効果を元に集客とWEBサイトを改善する(Google Analytics)	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
11	企業の課題を聞いてみよう	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
12	提案内容を考えてみよう①	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
13	教室でのプレゼン	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
14	提案内容を考えてみよう②	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
15	実際に提案してみよう	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく						
		【事後】							
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	地域社会と経済ⅡA							学 期	前 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	地域社会リーダーや経営者の講義・インタビューを通して、課題に取り組むリーダーシップのあり方を知り、また、他者のライフヒストリーを聞き取る手法を学び・実践する。								
授業内容	地域社会リーダーや経営者を対象とするリサーチとインタビューを通じて、ライフヒストリーの聞き取りと記録の実践no								
学習目標	富山のリーダーが今、取り組んでいる喫緊の課題は何かを知る。また、課題解決を推進するリーダーシップとは何かを考える。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	イントロダクション：地域課題とリーダーシップ	【事前】							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	地域課題に取り組む地域リーダー・リサーチ①	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
3	地域課題に取り組む地域リーダー・リサーチ②	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
4	質問事項整理	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
5	訪問インタビューの依頼文書作成と苦笑	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
6	インタビュー事前準備	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
7	現地訪問・インタビュー実施	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
8	インタビューまとめ・発表	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
9	インタビュー事前準備	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
10	現地訪問・インタビュー実施	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
11	インタビューまとめ・発表	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
12	インタビュー事前準備	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
13	現地訪問・インタビュー実施	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
14	インタビューまとめ・発表	【事前】	新聞記事などのメディアから、地域課題に取り組むリーダーの情報を収集する						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
	評価項目/割合		評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題 60 %		提出物の内容、期限内提出、インタビューの出来、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他 10 %		学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	TOEIC L&R IA (Low)						学期	前	期
担当教員	藤田登久	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	英語の基本から学び直しながら、英語や日本語の広く深い理解をめざす。								
授業内容	たんなる知識の整理整頓に終わらず、実用性を強く意識しながら、授業に個別指導を組み入れていく。								
学習目標	1年後の参加者全員のTOEIC平均点＝400点クリア！								
使用テキスト	①「Basic Grammar in Use」 ②「Basic Vocabulary in Use」								
週数	授業計画								
1	テキスト① Unit 1・2 テキスト② 1～2ページ進む								
2	テキスト① Unit 3・4 テキスト② 1～2ページ進む								
3	テキスト① Unit 5・6 テキスト② 1～2ページ進む								
4	テキスト① Unit 7・8 テキスト② 1～2ページ進む								
5	テキスト① Unit 9・10 テキスト② 1～2ページ進む								
6	テキスト① Unit 11・12 テキスト② 1～2ページ進む								
7	Review (Unit 1～12)								
8	テキスト① Unit 13・14 テキスト② 1～2ページ進む								
9	テキスト① Unit 15・16 テキスト② 1～2ページ進む								
10	テキスト① Unit 17・18 テキスト② 1～2ページ進む								
11	テキスト① Unit 19・20 テキスト② 1～2ページ進む								
12	テキスト① Unit 21・22 テキスト② 1～2ページ進む								
13	テキスト① Unit 23・24 テキスト② 1～2ページ進む								
14	テキスト① Unit 25・26 テキスト② 1～2ページ進む								
15	Review (Unit 13～26)								
	評価項目/割合		評価内容						
価 基	1. 課題 30 %		課題提出は積極的なか。						
	2. 授業姿勢 30 %		発言は積極的なか。						
	3. テストその 40 %		復習はちゃんとやっているか。						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
授業実	今年の7月、あるいは来年の1月にTOEICを受験し、平均400点クリアをめざす。								

評價基準

科目名		TOEIC L&R I B (High)						学期	後	期
担当教員		M. MATSUKURA	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的		This course aims to have the students for the TOEIC L&R Test by covering a variety of business scenes with both casual and formal words and phrases.								
授業内容		The students will build vocabularies and deepen their grammatical understandings while becoming familiar with topics dealt with in the test.								
学習目標		Goals in the test scores may vary from one student to another. The average goal set for the class will be 550 out of 990 points, while the target								
使用テキスト		English at Work: Book 2								
週数	授業計画									
1	Unit 1: Communicating on the Phone: Meeting (Re)arrangements									
2	Unit 2: Introducing Companies and Products: Consumer Problems									
3	Unit 3: Socializing with Confidence: Icebreaking, Do's and Don'ts									
4	Review									
5	Unit 4: Job Interviews: Interview Skills									
6	Unit 5: Business Writing: Advertising									
7	Unit 6: Job Hunting: Looking Online									
8	Review									
9	Unit 7: Powerful Presentations: Pitching									
10	Unit 8: Participating in a Meeting: Wrapping Things Up									
11	Unit 9: Negotiating for Success: Making a Deal									
12	Review									
13	Unit 10: Traveling on Business: Trade Shows									
14	Unit 11: Technology: Social Media									
15	Unit 12: Solving Problems: Business Problems									
評価基準	評価項目/割合			評価内容						
	1. 課題	30 %	Assignment: Dictation tasks, vocabulary checks, quizzes, etc.							
	2. 授業姿勢	30 %	Participation: Positive engagements are expected during pair and group work.							
	3. テストその他	40 %	Tests: Review quizzes after completing three units							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施	The students will take a TOEIC L&R Test in January 2024.									

科目名							TOEIC L&R II A (Low)			学期	前	期
担当教員	藤田登久		科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1		
学習目的	英語の基本から学び直しながら、英語⇄日本語の広く深い理解をめざす。											
授業内容	たんなる知識の整理整頓に終わらず、実用性を強く意識しながら、授業に個別指導を組み入れていく。											
学習目標	参加者全員のTOEIC平均点＝450点クリア！											
使用テキスト	①「Basic Grammar in Use」 ②「Basic Vocabulary in Use」 * TOEICの過去問セレクト											
週数	授業計画											
1	テキスト① Unit 53・54 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
2	テキスト① Unit 55・56 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
3	テキスト① Unit 57・58 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
4	テキスト① Unit 59・60 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
5	テキスト① Unit 61・62 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
6	テキスト① Unit 63・64 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
7	Review (Unit 53～64)											
8	テキスト① Unit 65・66 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
9	テキスト① Unit 67・68 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
10	テキスト① Unit 69・70 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
11	テキスト① Unit 71・72 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
12	テキスト① Unit 73・74 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
13	テキスト① Unit 75・76 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
14	テキスト① Unit 77・78 テキスト② 1～2ページ進む * TOEICの過去問セレクト											
15	Review (65～78)											
評価基準	評価項目/割合				評価内容							
	1. 課題		30%		課題提出は積極的か。							
	2. 授業姿勢		30%		発言は積極的か。							
	3. テストその他		40%		復習はちゃんとやっているか。							
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
外授業実施	TOEICを受験し、平均450点クリアをめざす。											

科目名	TOEIC S&W I A							学期	前	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1	
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a communicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト	English Firsthand Acess with My Mobile World_Student Book / Passport to Work_Course Book / Passport to Work_Workbook									
週数	授業計画									
1	English Firsthand, Access Unit 1: How are you? Passport to Work Unit 1: I'm in the computer business									
2	English Firsthand, Access Unit 2: Do you understand? Passport to Work Unit 2: No, he's the boss!									
3	English Firsthand, Access Unit 3: This is my room. Passport to Work Unit 3: This is where we have lunch									
4	English Firsthand, Access Unit 4 : When do you get up? Passport to Work Unit 4: Can I use your phone?									
5	English Firsthand, Access Unit 5: Who's that? Passport to Work Unit 5: How about some coffee?									
6	English Firsthand, Access Unit 6: That's a great shirt! Passport to Work Unit 6: Can you meet me at the airport?									
7	English Firsthand, Access Unit 7: I love weekends! Passport to Work Unit 7: I'll take care of it									
8	English Firsthand, Access Unit 8: Let's eat! Passport to Work Unit 8: What are the sales figures?									
9	English Firsthand, Access Unit 9: I really enjoy it! Passport to Work Unit 9: Do you have an e-mail address?									
10	English Firsthand, Access Unit 10: Welcome to my home. Passport to Work Unit 10: I'd like to work overseas									
11	English Firsthand, Access Unit 11: Where did you go? Passport to Work Unit 11:What's your job like?									
12	English Firsthand, Access Unit 12: Will I be famous?r Form & Email Passport to Work Unit 12: Would you like me to fax you the details?									
13	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 13: What's the budget for the website?									
14	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 14: I'll meet you at the north exit									
15	English Firsthand, Access: Review Passport to Work Unit 15: Good luck in your new job!									
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題	40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)							
	2. 授業姿勢	30 %	positive engagement in pair/group work							
	3. テストその他	30 %	tests in My Mobile World							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施										

科目名	TOEIC S&W I B							学期	後	期
担当教員	Steve Saunders	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習目的	This course focuses on practical English in the workplace and it aims to brush up speaking and listening skills in particular.									
授業内容	The language areas presented are taught within a communicative framework and most of the activities are student-centered with pair work being an integral part									
学習目標	To gain communicative competence in telephoning, meeting and greeting clients, making plans and arrangements, dealing with problems, etc.									
使用テキスト	English Firsthand Success with My Mobile World_Student Book / Whaddaya Say?									
週数	授業計画									
1	Success Unit 1: What's your name? Whaddaya Say? Unit 1: How's Your Femiey?									
2	Success Unit 2: I love fashion! Whaddaya Say? Unit 2: Yours Is a Great Job!									
3	Success Unit 3: How do you stay healthy? Whaddaya Say? Unit 3: I Have the Pertect Car for You									
4	Success Unit 4: How do I get there? Whaddaya Say? Unit 4: Where Are the Bags of Chips?									
5	Success Unit 5: What's that? Whaddaya Say? Unit 5: Do You Like the Internet?									
6	Success Unit 6: What's your dream? Whaddaya Say? Unit 6: Let's Go Shopping									
7	Success Unit 7: It was great! Whaddaya Say? Unit 7: What Are You Deing This Weekend?									
8	Success Unit 8: How much do you know? Whaddaya Say? Unit 8: I Want to Have a Hamburger									
9	Success Unit 9: She can really sing! Whaddaya Say? Unit 9: We're Going to See "The Monster That Ate Cleveland"									
10	Success Unit 10: What do you like to do? Whaddaya Say? Unit 10: Can You See the Stage?									
11	Success Unit 11: Of course you can. Whaddaya Say? Unit 11: What Can I Get You for Your Cold?									
12	Success Unit 12: What happened next? Whaddaya Say? Unit 12: Take Bus 4 to Second Street									
13	Success : Review Whaddaya Say? Unit 13: I'm Going to Try to Find a Job									
14	Success : Review Whaddaya Say? Unit 14: I've Got to Check Your Teeth									
15	Success : Review Whaddaya Say? Unit 15: I Used to Be an Engineer for the Railroad									
評価基準	評価項目/割合			評価内容						
	1. 課題	40 %	Assignments in My Mobile World and Passport to Work (Workbook)							
	2. 授業姿勢	30 %	positive engagement in pair/group work							
	3. テストその他	30 %	tests in My Mobile World							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
外授業実施										

[illegible]

科 目 名	リサーチ・コミュニケーションⅡA(ファシリテーション)							学 期	前 期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	多様な立場からの意見を引き出し、整理し、意見交換や合意形成を進行するファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける								
授業内容	集団における合意形成とメンバーの協働を促すファシリテーションの技術を習得する。ファシリテーションを参加者として体験するだけでなく、企画者・推進役として実際にファシリテーションを企画、実施する。								
学習目標	①場づくりの技法としてのファシリテーションの意義を理解できる。②場づくりの基本的な技法を獲得できる。③実際にワークショップ・ワークショップ型の話し合いを								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画								
1	ファシリテーションが求められる社会的背景とファシリテーションの意義								
2	ファシリテーターのあり方とファシリテーションの技法								
3	ファシリテーション体験								
4	同上								
5	ファシリテーションの手順と技法								
6	同上								
7	同上								
8	同上								
9	ファシリテーション実践								
10	同上								
11	同上								
12	ファシリテーション応用：グループ・インタビューの技法と実践								
13	同上								
14	同上								
15	学習のふりかえり								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 60 %			提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献					
	2. 授業姿勢 30 %			出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無					
	3. テストその他 10 %			学習成果総括レポート					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他 外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科 目 名	DXリテラシーⅠA							学 期	前 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	DXが必要とされる国内外の社会変化とデジタル技術やデータ活用によってめざす社会のあり方を理解する。1年後期・2年後期の「課題解決ⅠA・ⅡA」において実施予定である地域企業や行政等との連携プロジェクトの前段階の位置づけとなる。								
授業内容	①モノを扱う小売り業界のDX事例学習②コトを扱う観光業界のDX事例学習								
学習目標									
使用テキスト	なし、授業時資料配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	イントロダクション：社会変化とDX	【事前】							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	小売業界とDX	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
3	小売業界のしくみ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
4	小売業界のしくみ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
5	小売業界のしくみ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
6	小売業界とDX	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
7	小売業界とDX	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
8	観光業界とDX	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
9	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 特別講義：観光マーケティングの事例研究	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
10	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 実践演習①データ・マーケティングなど	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
11	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 実践演習②マーケティング・リサーチなど	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
12	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 実践演習③	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
13	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 実践演習④	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
14	観光業界とDX ＜短大・専門合同授業＞ 実践演習⑤	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
15	まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるように準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容						
	1. 課 題	60 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	10 %	学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	デジタルビジュアルライゼーションⅠA(グラレコ・コンセプト)							学期	後	期
担当教員	島田美沙	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1	
学習目的	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるグラフィックレコーディングに関する知識とスキルを実践的に学ぶ。表現、要約、図解、レイアウトのスキルを身につけ、「わかりやすく伝える」ための基本を学びます。									
授業内容	グラフィックレコーディングを使い、学校の特徴や魅力を紹介する「グラレコ」を完成させ、発表する。									
学習目標	可視化するメリットを理解し、グラフィックレコーディングを思考整理や会議で活用できる。事柄を的確に要約し、わかりやすく表現することができる。									
使用テキスト	ファシリテーショングラフィック 議論を「見える化」する技法／堀公俊・加藤彰									
週数	授業計画									
1	基礎編①グラフィックレコーディングとは、グラフィックレコーディングの活用場面、初期講座①									
2	基礎編②グラフィックレコーディングの効用、初期講座②									
3	基礎編③グラフィックレコーディングの心得&要約のポイント、初期講座③									
4	実技編①動画をグラレコする									
5	実技編②記事をグラレコする									
6	実技編③1on1をグラレコする									
7	模造紙でグラレコする①ペンやクレヨンの使い方									
8	模造紙でグラレコする②模造紙でグラレコを描く									
9	応用編①複数人グループでグラレコする									
10	応用編②広告記事の作成									
11	実践編①グラフィックレコーディングでの学校紹介、掲載内容についての意見交換									
12	実践編②掲載内容の詳細決定、情報収集									
13	実践編③仮レイアウト作成									
14	実践編④グラフィックレコーディングの製作									
15	完成したグラフィックレコーディングの発表、振り返り									
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 60 %		課題・提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 10 %		最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります									

科目名	プレゼンテーションⅠA							学期	後期
担当教員	尾藤光	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、社会人となったときに、即戦力となるための「プレゼンテーション能力の基礎」を身につける。								
授業内容	①「伝える技術」情報収集、話す順序、内容選定、構成、観客のセットアップ、話すときの抑揚など								
学習目標	プレゼンテーション資料の準備段階での情報収集、思考方法、作成方法を知り、実際にプレゼンテーションによって自己を表現することができる。								
使用テキスト	『伝わるデザインの基本 増補改訂3版 よい資料を作るためのレイアウトのルール』高橋 佑磨著、技術評論社								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション プレゼン資料作成の前にやるべき10のポイント「自己紹介プレゼン」								
2	伝える技術-シナリオ作成術								
3	伝える技術-基本編								
4	伝える技術-準備編								
5	伝わるデザイン-パワーポイントの使い方								
6	伝わるデザイン-Googleスライドの使い方								
7	伝わるデザイン-InstagramとCanvaの使い方								
8	伝える技術-表現編								
9	伝える技術-データ編								
10	伝わるデザイン-ビジュアル編								
11	伝える技術-ブラッシュアップ編								
12	プレゼンテーション演習①								
13	プレゼンテーション演習②								
14	プレゼンテーション演習③								
15	プレゼンテーション演習④								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題 40 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他 30 %		最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	リサーチメソッドⅠA							学期	前 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	マーケティング実践に必要なリサーチスキルのうち、定性調査（記述式アンケート調査、インタビュー調査、フィールドワーク）の技法を身につける。								
授業内容	社会調査法の基本的考え方から、マーケティング領域での事例までカバーし、生活やビジネスの中で役立つ定性リサーチの技法を身につける。								
学習目標	適切なリサーチの手順を理解し、調査目的やテーマ・領域に応じた調査プロセス（デザイン→データ収集→記録・整理→分析）を実践することができる。								
使用テキスト	よくわかる質的社会調査プロセス編 谷富夫・山本努編著、よくわかる質的社会調査技法編 谷富夫・芦田徹編著（ミネルヴァ書房）								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	リサーチとは 数値で表せない人の思いや考えをとらえる定性分析	【事前】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
2	リサーチ入門：問いをたてる、仮説をたてる、実態をとらえる、構造をとらえる	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
3	定性データの収集：質的調査のデザイン	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
4	定性データの分析：質的データの分析技法（コーディングと構造化）	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
5	定性データの分析：質的データの分析技法（コーディングと構造化）	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
6	定性データの収集：フィールドワーク/行動観察とその技法	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
7	定性データの収集：フィールドワーク/行動観察実践	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
8	定性データの収集：フィールドワーク/行動観察記録整理	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
9	定性データの収集：インタビューとその技法（個人インタビューとグループインタビュー）	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
10	定性データの収集：インタビュー実践	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
11	定性データの収集：インタビュー結果整理	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
12	定性データの収集：記述式アンケートとその技法	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
13	定性データの収集：記述式アンケート実践	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
14	定性データの収集：記述式アンケート結果整理	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく 講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
		【事後】							
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく 全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
		【事後】							
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 60 %	課題・提出物の内容、期限内提出、ブ協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 10 %	テスト、学習成果総括レポート							
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	リサーチメソッドⅠB							学 期	後 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	マーケティング実践に必要なとなるリサーチスキルのうち、定量分析の土台となる数字の扱い方や統計の考え方を理解する。また、エクセルを使用した数量データの分析・グラフ作成力を身につける。								
授業内容	課題解決の糸口を発見するために、各種定量分析の考え方と技法を学習し、実データで実践する。								
学習目標	マーケティングの目的に合った数量データの収集ができる。Google Formsを活用して調査票を作成できる。クロス集計や統計検定など統計の考え方を理解し、実践できる。分析結果をグラフや表を用いてレポートできる。								
使用テキスト	授業時に新聞を配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	数字で捉える「差」や「変化」	【事前】							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	企業課題と定量分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
3	ピボットテーブル機能を利用したクロス集計で売り上げの特徴をとらえる	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
4	仮説検定で違いに意味があるか検証する	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
5	相関分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
6	相関分析活用：売上要因把握	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
7	回帰分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
8	回帰分析活用：売上予測、顧客満足度分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
9	実データ実践：地域店舗への販促提案	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
10	実データ実践	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
11	実データ実践	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
12	データ分析にもとづいた提案づくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
13	データ分析にもとづいた提案づくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
14	データ分析にもとづいた提案の発表	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題 40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	情報リテラシーⅡA							学 期	後 期
担当教員	非常勤	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	情報取り扱いに関わる法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める								
授業内容	個人情報、企業機密データ、著作物の適切な取り扱いについての基本的な知識を学ぶ。事例学習を通じて、実践的な対応についても理解を深める。								
学習目標	企業や個人情報を取り扱う際に必要となる法規や社会規範を理解している。データや著作権を適正に取り扱う手順を理解している。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	イントロダクション	【事前】							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	個人情報保護法の理解	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
3	個人情報に関連する事件・事故	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
4	個人情報に関連する事件・事故	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
5	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：脅威と対策	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
6	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：組織体制の整備	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
7	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：実務知識	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
8	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：オフィスセキュリティ	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
9	個人情報保護の対策と情報セキュリティ：技術的管理の実務知識	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
10	著作権保護と侵害	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
11	著作権保護と侵害	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
12	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
13	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
14	事例研究：企業におけるデータ管理の実態	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 30 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 40 %	テスト、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	卒業研究ⅡA							学期	前 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を発表する(Dream成果発表会等)								
授業内容	科目で取り組んだテーマや課題を素材に、自身の設定するテーマを絞り込み、不足している観点やデータを補いながら、課題を深掘りし、提案を行う。								
学習目標	テーマを設定し、データを収集・分析し、結果を考察し、提案内容をまとめあげ、発表するスキルを身につける。								
使用テキスト	未定								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	テーマの選定	【事前】							
		【事後】	講義後に理解が曖昧な点がないかふりかえり、次回クリアできるよう整理しておく。						
2	テーマの選定	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
3	アウトプットのデザイン	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
4	アウトプットのデザイン	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
5	素材の吟味	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
6	追加収集するデータの選定	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
7	データ収集	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
8	データ収集	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
9	データ分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
10	データ分析	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
11	提案づくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
12	提案づくり	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
13	発表	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
14	発表	【事前】	関連ページを読み、不明瞭な点をチェックしておく						
		【事後】	事前学習で不明瞭であった点がクリアになったか確認						
15	学習の振り返り、まとめ	【事前】	それまでの講義をふりかえり、不明瞭な点をチェックし、講師に質疑できるよう準備しておく						
		【事後】	全講義を通して学んだこと、身につけたことを整理する						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 40 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献							
	2. 授業姿勢 30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無							
	3. テストその他 30 %	テスト、最終成果物発表、学習成果総括レポート							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科 目 名	インターンシップⅠA							学期	前 期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	1
学習目的	インターンシップに向けての業界・職種への理解を深める								
授業内容	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習								
学習目標	外部講師による講義を通して、インターンシップが活躍できる業界や企業の特徴、また、インターンシップの仕事と課題を理解する。 自己理解を深めると同時に「エンタフクター」という職種に求められるフィードバックを理解する。								
使用テキスト	適宜資料配布								
週数	授業計画								
1	インターンシップの目的と意義								
2	自己理解								
3	業種理解と職種理解								
4	業種理解と職種理解								
5	希望するインターンシップ先探し								
6	業界研究・企業研究：外部講師								
7	業界研究・企業研究								
8	エントリー企業の情報収集								
9	エントリー企業の情報収集								
10	エントリーシートの作成								
11	エントリーシートの作成								
12	ビジネスマナー：接遇・口頭でのコミュニケーションの基本								
13	ビジネスマナー：文書でのコミュニケーションの基本								
14	インターンシップ先へのエントリー								
15	インターンシップ先へのエントリー								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 60 %		提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢 30 %		出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他 10 %		最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名	インターンシップⅡA							学期	前期
担当教員	三宅 可倫	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	1
学習目的	インターンシップに向けての業界・職種への理解を深める								
授業内容	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習								
学習目標	・外部講師らによる講義を通じて、データマーケターが活躍できる業界や企業の特徴、また、データマーケターの仕事と課題を理解する。 ・自己理解を深めると同時に、データマーケターという職種に求められるマインドやスキルを理解する。								
使用テキスト	適宜資料配布								
週数	授業計画								
1	インターンシップの目的と意義								
2	自己理解								
3	業種理解と職種理解								
4	業種理解と職種理解								
5	希望するインターンシップ先探し								
6	業界研究・企業研究：外部講師								
7	業界研究・企業研究								
8	エントリー企業の情報収集								
9	エントリー企業の情報収集								
10	エントリーシートの作成								
11	エントリーシートの作成								
12	ビジネスマナー：接遇・口頭でのコミュニケーションの基本								
13	ビジネスマナー：文書でのコミュニケーションの基本								
14	インターンシップ先へのエントリー								
15	インターンシップ先へのエントリー								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	60 %	提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言、忘れ物の有無						
	3. テストその他	10 %	最終成果物発表、学習成果総括レポート						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります								

科目名		インターンシップⅠB							学期	後期	
担当教員		三宅 可倫		科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	4
学習目的		小売り業界や販売・営業・マーケティング職種への理解を深め、求められる人材像やスキルを認識し、まだ足りていない部分に対する対策を見出す。									
授業内容		現場の業務フローの中でインターンとしての仕事体験において、授業で身につけたデータマーケティングの知識とスキルを適用し、どのように業務へ貢献できるか挑戦する。									
学習目標		授業で学んだ知識を活かし、また机上の学習とのギャップを理解する。									
使用テキスト		なし									
週数	授業計画										
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる										
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
		評価項目/割合				評価内容					
評価基準		1. 課題		70 %		インターン課題へのアウトプット					
		2. 授業姿勢		30 %		言葉づかい、態度、マナー					
		3. テストその他		0 %							
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他											
外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											

1 年

外授業実施	日商PC検定データ活用3級
-------	---------------

